旭民報

2007年
1月 1日
＝再刊＝
第449号

＝連絡先＝
＝発行＝ 日本共産党尾張旭市委員会
TEL 0561-52-5894 FAX 51-4011
庄司 宗雄 TEL 0561-54-0563
塚本 みゆき TEL 052-798-1302
川村 つよし TEL 052-772-9298

12月議会　日本共産党議員団の一般質問

前号に続き、12月議会で行われた日本共産党議員団の議会質問と答弁（要旨）を掲載します。

今号は川村つよし議員の質問分です。

全国学力・学習状況調査

犬山市教育委員会は不参加を表明している、全国学力・学習状況調査（07年度実施予定）ですが、東京都では、03年度から学校選択制と一緒に、学力テストを行った結果、競争の激化、学校の「序列化」が進んでいるといいます。当市での考えを聞きました。

答弁から、市教育委員会では、今のところ議論をしていないが、50～60年代に11年間学力テストが行われたことを、答弁した教育長は経験しており、学力テストの弊害については承知しているので、充分検討してゆきたい。学力テストの結果を生かすためには、教育委員会で話題になると思うが、それを（傍聴可能な教育委員会を）公開するのか、非公開にするのかも検討したいという答弁でした。最後に、競争の激化を避けなければならず、状況によっては学力テストに参加しないということを含めて議論をするように要望しました。

小学校2年生での少人数学級の来年度実施を求めて

新聞報道から、愛知県知事選挙で、名乗りを上げた方の政策として、少人数学級の拡大が掲げられており、誰が知事になろうとも、6月議会に提出され、1万人を超える少人数学級の実施を求めた署名で強く要求されていた、小2での少人数学級の実施はもはや時間の問題で、この状況変化を受けて市の考えが変わらないのかと考え質問しました。

再質問では、04年に出された「尾張旭市の教育を考える協議会の答申」で、少人数学級の拡大に市として努力するように書かれているが、いつ努力するのか、努力する機会も失うことになるのではないのかとも聞きましたが、市の態度は変わりませんでした。

（裏面へ）

2007年も よろしくお願いします

二〇〇七年いよいよ選挙の年

日本共産党
前参議院議員
八田ひろ子

明けまして、おめでとうございます。

新しい年をどうお迎えになりましたか？

今年は、県知事選挙、地方選挙、参議院選挙―日本の未来を選択する選挙の年です。

庶民には大増税と負担増を今年も押し付け、その一方で、大もうけしている大企業には、さらなる大減税の自民党・公明党の弱いものいじめ。憲法9条を変えて戦争する国にしようという安倍首相。こんな間違った政治を変える年にしましょう！確かな野党、日本共産党へのご支持の輪を広げてください。

私も若者の顔が明るくなる日本を目指し、国会へ勝ち上るために全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

今年は一斉地方選挙の年、そして、参議院選挙の年です。

1月後半から、愛知県知事選挙もはじまります。半年ほど選挙が続きますが、躍進の年となるように奮闘したいと思います。

名鉄4駅などで早朝宣伝も続けていますが、最近、少し雰囲気が変わり、これまで以上に政治を変えて欲しいという党に対する期待を感じています。

マスコミの論調でも、法人税減税に批判的であったり、格差社会の拡大を問題視するなど、党が主張していたことが浸透もしてきました。ご期待に応えられるようにがんばります。引き続くご支援をお願いします。

市会議員　**川村つよし**
市会議員　**塚本みゆき**

（表から＝少人数学級続き）

答弁では、現在県内の自治体で、独自で行っている少人数学級は、非正規の講師で、こども達に確かな学力をつけさせるには、講師でなく正規の教員が良いと考えているので、市独自で行う考えは無いとのことでした。

状況の変化を受けて、正規の教員でやれるように、県と相談するということを、なぜ、考えないのか、（この原稿を書きながら）あらためて疑問に思いました。

非核平和都市宣言の実施

これまでも非核平和都市宣言の実施を、毎年の予算要望書や、議会質問で求めてきました。これまでの議会答弁は一貫し、実施を否定していますが、「（非核三原則の）国会決議以前は、市民と国の間にあります各自治体が、こうした非核都市の宣言を行うことは、国に必要な対応等を求めていくことや国と連携することにおいて意義があったと考えます。」とも答弁しており、北朝鮮が核実験を行ったことを受けて、自民党の中川昭一政調会長が日本も「核兵器保有」の議論をすべきだと発言したことや、麻生外相がそれに同調し、そうした発言が繰り返されていることは、国の専管事項だと言って、のんきに構えていて良い状況ではなく、こうした変化の中で、宣言の必要性を求めました。

しかし、答弁はこれまでと変化が無く「日本が核を現実的に持つことは、国会や国民が容認することはあり得ないと考えている」というのんきな答弁でした。

中川・麻生氏らの発言をさせている、表明できるようになってしまった状況の変化は怖いと思いますし、それを許さない強い世論を作れるか自治体も国民も試されていると思います。市には今後も求め続けてゆきます。

市職員の勤務時間の把握

公務員にもサービス残業があるという疑いは、いくら市が否定しても拭えない。その状況が、以前よりひどくなっているのではないかという問題意識が数年前からあり質問しました。

質問の柱として力になったのが、厚生労働省が２００００年に示した、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準」でした。

http://www.mhlw.go.jp/houdou/0104/h0406-6.html

繊細な問題でもあり、上手く追求もできませんでしたが、市としては、市職員の勤務時間を客観的につかむために研究もしたい（具体的には労基署から今度講師が来るので、そのときに相談もしたい）という内容の答弁でした。今後の状況も見守りたいと思います。

また、答弁の中で、超過勤務を行った市の職員が、勤務した時間を確実に申告するという職員の意識を持ってもらえるように周知をしたいとありましたが、実態を書きにくい環境を使用者側が作り出している状況は民間企業でいくらでもあり、そうした状況については考えが及んでいない様子なのは問題があると思えました。

１２月議会

賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

○：賛成　　×：反対

※議長は採決に加わりません。

会派	日本共産党		市民クラブ						あさひ２１						平成クラブ					公明党			創新クラブ	
議員名	川村剛	塚本美幸	大島もえ	佐藤信幸	早川八郎	水野利彦	水野義則	※渡辺欣聖	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	斉場洋治	坂江章演	森下政己	服部勝	原淳麿	森和実	行本聖一	若杉たかし	伊藤恵理子	丹羽栄子	良知静夫	谷口マスラオ	山下幹雄
議案などの名称																								
第77号議案 特別保育の実施に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号議案 財政状況の公表に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案 保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	×	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号議案 愛知県後期高齢者医療広域連合の設置について	×	×	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第23号 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	○	○	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第24号 執行機関の長による議員定数削減条例の提案に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第25号 外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定に関する陳情	○	○	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×